

- 1 選考区分 一般選考
- 2 該当志願区分及び教科（科目等） 高等学校 地理歴史（日本史）
- 3 該当試験 教科専門
- 4 該当問題 第4問 （2）イ

4 近現代について、以下の(1)～(5)の各問いに答えよ。

(1) 略

- (2) 次の史料は、1881年に起こったある出来事に際して岩倉具視から意見を求められた井上毅の回答の一部である。これを読んで、下のア、イの各問いに答えよ。

第三 此の人心動揺の際此勅諭あるにあらざれば挽回無覚束、更に明言すれば人心の多数を政府に牢絡すること無覚束。
 (『自由党史』)

ア 史料中の下線部の勅諭が出された経緯について、当時の国会開設をめぐる政府内部の対立関係について明らかにしながら説明せよ。また、その際、この勅諭によって公約された内容もあわせて説明すること。

イ 井上毅に関連して、次の文中の（ a ）に入る人物名を答えよ。また、（ あ ）、（ い ）に入る人物名を、下の1～5から一つ選び、それぞれ記号で答えよ。ただし、（ あ ）、（ い ）は順不同とする。

大日本帝国憲法の草案は、1886年末ころからドイツ人顧問（ a ）らの助言を得ながら伊藤博文を中心に進められ、井上毅の他（ あ ）、（ い ）らが起草にあたった。

1 寺島宗則 2 伊藤巳代治 3 副島種臣 4 由利公正 5 金子堅太郎

(3)～(5) 略

【誤】選択肢

1 寺島宗則 2 伊藤巳代治 3 副島種臣 4 由利公正 5 金子堅太郎

【正】選択肢

1 寺島宗則 2 伊東巳代治 3 副島種臣 4 由利公正 5 金子堅太郎

[誤りの内容]

正答として用意したはずの「選択肢2」の人物名に誤字があったため、正答がない問題となっていた。

5 対応

「選択肢2」を選ぶことができなかった受験者に2点を加点する。

※ 配点2点 / 200点満点中